

■ き線点単心送込み技術

2005年（平成17年）

光加入者線路における地下ケーブルと架空ケーブルの接続箇所（き線点）では、光ファイバテープ（テープ心線：4心単位もしくは8心単位）単位で架空ケーブルの各方面へ接続するため、心線利用効率の低下が問題になりました。（図1）

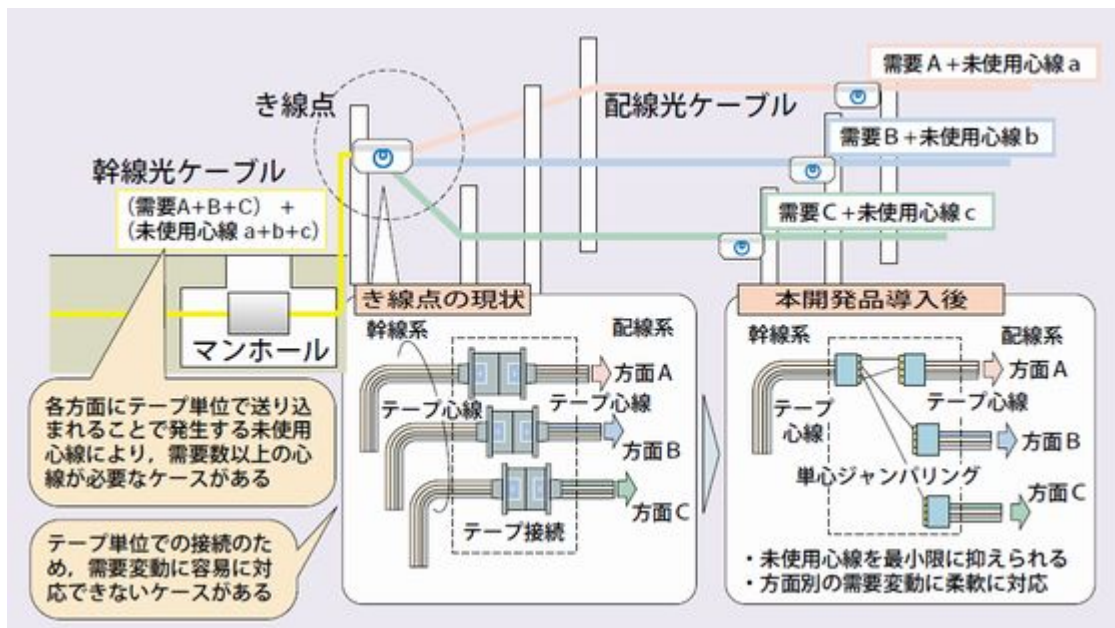


図1 き線点の現状

これに対し、テープ心線を単心線に変換するモジュール(FO[Fun Out]モジュール)と、単心線接続部分の作業性向上を図る単心コネクタ付きコード (FOコード) の開発により単心ジャンパリングの導入を可能としました。

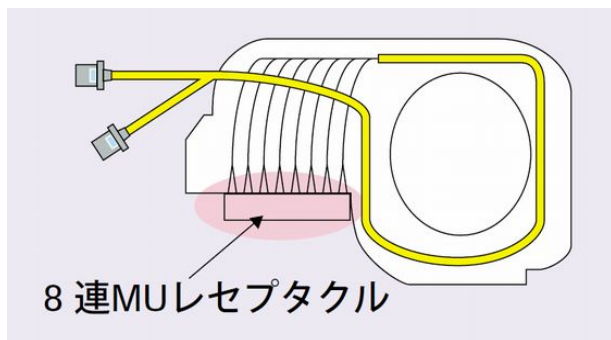


図2 FOモジュール（上側から見た図）

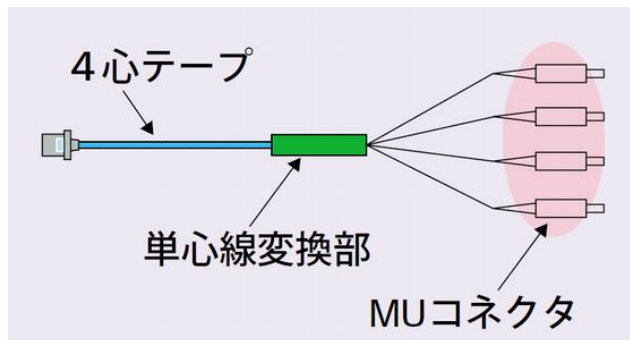


図3 FOコード

さらに、導入を容易にするため、既設架空クロージャ内の空き部分に必要機能（モジュールベース、FOトレイ、保留コネクタ収納箱）を配置しました（図4）。

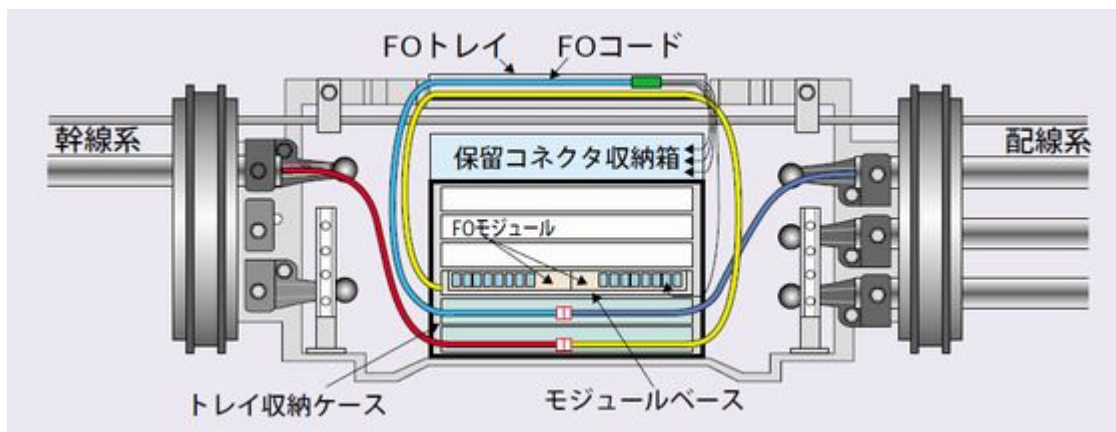


図4 架空クロージャ内への設置例（断面図）